

学生生活の
必須アイテム

大学図書館



好きなことに好きなだけのめり込める大学教育

図書館長 鈴木 巨 教授

新入生の皆さん、入学おめでとうございます！ 友人たちや先生たちとの出会い、専門分野の学習、部活動やサークル、アルバイト、留学など、様々な大学生活への期待に胸を膨らませていることだと思います。高校までの教育と、大学教育の違いを一言で言うと、「自由！」ということに尽きます。決められたカリキュラムにしたがって、嫌いな科目も黙々と勉強しなければならない高校までとは異なり、大学では好きな分野の勉強に、好きなだけのめり込むことができます。学びたいこと、やりたいことを見つけた学生にとっては、まさに天国のような環境と言えるでしょう。大学生活では、授業に出席して、先生からその分野の基礎を学ぶことも必要ですが、好きなことを好きなだけ学ぶためには、どうしてもそれ以上の「独学」が重要になります。その際に、強力な味方となってくれるのが「大学図書館」の存在です。学習院大学には図書館本館の他、法経図書センター、理学部図書室、文学部の図書室など、様々な施設にたくさんの蔵書があり、読むべき本に困ることはまずありません。言い古された言葉ですが、書物は人類の英知の結晶です。一つの専門書を読むことで、1年間の授業にも匹敵する知識が得られる事がしばしばあります。つまり、書物を読むことは大変効果的な学習法なのです。膨大な英知の結晶がそろった大学図書館に、是非、足を運んでみて下さい。そして是非、「好きなことに好きなだけのめりこむ」生活を送って下さい。

大学図書館は大学生には必要不可欠。

高校の図書館や公共図書室とは異なり、学習・研究に特化していますが、

それだけではなく、他にも色々な使い方ができます。

パソコンで調べたり、図書館にない本を取寄せたり…

それってどうやって使ったらいいの？ そんな疑問にお答えします。

女子大学図書館／豊島区立図書館から取り寄せて利用

女子大学図書館

- GLIM/OPAC を検索
- 取り寄せたい資料の **予約** ボタンを押す
- MyGLIM にログイン (※)
- 依頼条件選択で受取りたい場所を選択して画面に従い「次へ」

依頼条件選択

資料の受取希望館を選択して下さい。

大学図

• 画面内容を確認して

ボタンを押す

- 大学図書館または法経図書センターで受け取り (貸出 OK)

豊島区立図書館

- 豊島区立図書館の OPAC を検索
- 検索結果をプリントアウトして、大学図書館 1 階カウンターで申込
- 大学図書館で受け取り！ (貸出 OK)

豊島区立図書館は雑誌も取り寄せ (貸出) できます。大学図書館にはない料理・ハンドメイドなどの Howto 本も取り寄せ (貸出) できるから便利!

大学図書館に行かなくても貸出し延長

借りた本の貸出期限が迫っているけれど、まだ読み終わっていないときは、オンライン上で貸出し延長の手続きができます。

MyGLIM

利用状況の確認・貸出更新

ブックマーク

ILL複写依頼(院生・専任教職員のみ)

ILL貸借依頼(院生・専任教職員のみ)

新規購入依頼(学生のみ)

MyGLIM にログインし (※)、「利用状況の確認・貸出更新」から手続きできます

※ 一部、雑誌等、MyGLIM で貸出中か確認できない資料はオンライン機能を使用することができません。その際は、大学図書館 1 階カウンターにて手続きを行ってください



学習院にない「学術書」や「専門書」をリクエスト

学習・研究に必要な資料が学習院の図書館になかったら、図書館に資料の購入をリクエストできます。勉強に必要な資料があるけど自分で買うにはちょっと高い…そんなときは是非リクエストしてください。

※内容によって購入不可となる場合があります
※購入決定後、利用できるようにまでに 1～6 ヶ月程時間がかかります

MyGLIM

利用状況の確認・貸出更新

ブックマーク

ILL複写依頼(院生・専任教職員のみ)

ILL貸借依頼(院生・専任教職員のみ)

新規購入依頼(学生のみ)

MyGLIM にログインし (※)、「新規購入依頼」から購入したい本の検索、申請ができます

その他、図書館の資料にしてほしい本を大型書店に行って直接選べるツアーを年 1～2 回、開催しています (詳細は随時、図書館 Web サイト、G-port や館内ポスターにてお知らせしています)。



日曜日も試験勉強に

通常期間は日曜は閉館していますが、7 月・1 月の試験期間中に限り、日曜日も図書館は開館しています。詳しくは図書館サイトのカレンダーをチェックしてください。

日曜の開館は平日よりも入館者数が少なく、落ち着いて静かに勉強したい人にとって穴場です (利用対象者は学生・教職員のみ)。



1 階展示コーナー

季節ごとにテーマを決めて図書館員や応募した学生が所蔵資料についておすすめの資料を展示しています。いずれも展示目録や本のディスプレイ方法など、担当者のこだわりが詰まっている他、普段は見ることができない貴重資料も間近に見ることが出来るチャンスです。

※ 展示された資料は、学習院大学デジタルライブラリー (<https://glim-op.glim.gakushuin.ac.jp/>) でもアクセスが可能です。



大学図書館セミナー

特定のテーマについて専門家に講演していただく「大学図書館セミナー」を年に 2 回 (春・秋) 実施。特にここ数年は、“学生の興味に沿い、なおかつ学生のためになるもの” という観点から、多種多様なテーマでセミナーを開催しています。事前申込不要・当日参加可のセミナーですのでお気軽に足を運んでみては。



モバイル版

簡単な資料の検索や貸出状況・開室状況の確認は、モバイル版サイトからアクセスすることができます。 (<https://glim-op.glim.gakushuin.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>)



MyGLIM へのログイン方法

日本語 | English

学習院大学 交通アクセス(大学)

学習院女子大学 交通アクセス(女子大)

よくある質問

学習院大学図書館 学習院女子大学図書館 カレンダー よくある質問 お問い合わせ

MyGLIM

利用状況の確認・貸出更新

ブックマーク

各館カレンダー

大学図書館

法経図書センター

ID

パスワード

ログイン 戻る

ユーザ ID とパスワードは、学内パソコンにログインする際と同じものを入力

ユーザ ID：学籍番号または教職員番号

パスワード：計算機センター登録のもの

個人向けサービス MyGLIM は、学習院大学・学習院女子大学の図書館資料を検索するシステム「GLIM/OPAC」の機能の一部です。GLIM/OPAC の「ログイン画面」から MyGLIM に入ってください。

※ MyGLIM の各サービス・機能詳細は を参照してください。

資料検索に行き詰まった深夜。ネットで図書館員に質問

「本を探しているけれど見つからない」「調べている〇〇についてどういう本を読めばいいかわからない」という時に頼りになるのは大学図書館 2 階レファレンスカウンター。カウンター開室時間でもなく、オンラインで 24 時間利用できる「お問い合わせ」から図書館員に質問できます。資料探しのお手伝いを専任の図書館員が行い、回答いたします。なお、回答は原則レファレンスカウンター開室時間に行います。

カレンダー よくある質問 **お問い合わせ**

GLIM OPAC 上部「お問い合わせ」を押して質問を登録、送信



データベース NAVI が 新しくなりました！

データベース NAVI の画面が、より利用しやすい形にリニューアルしました！
 これまでは、データベース NAVI を利用する前にログインが必要でしたが、ワンクリックで直接一覧画面が表示されるようになりました。データベースのリストも分野別にまとめられているので、調べたい主題毎に簡単に探し出せます。
 また、EZ-Proxy というシステムを導入したことで、学外から利用できるデータベースが飛躍的に増えました。
 ※利用者種別により、利用できない場合があります。
 さらに便利になったデータベース NAVI をどうぞご利用下さい。



市井の人々の 社会心理史を！

名誉教授
(元文学部 心理学科)
永田 良昭 先生



書籍を処分する決断がつかない。本棚は前から満杯であったが、定年で私物を大学から自宅に持ち帰り、ついに床上に積み上げざるを得なくなった。問題は、必要な書籍や資料がすぐに掘り出せないことである。

遠景はここまで。「私の本棚」の近景をご紹介したい。景色は、雑然としている。小説もあれば、伝記、聞き書き、生活記録、ルポの類、小学生の作文もある。共通点は、活字で印刷され市販されたものであること。これは、蒐集しやすかったからである。



いずれも自宅の書架

資料としての小説は、作家が自伝的な記録と称しているものに限定している。生活記録は、例えば、太平洋戦争中の学童集団疎開の学童や引率教員の体験記、太平洋戦争敗戦後の戦災孤児の生活記録、昭和 30 年代の東京近郊への集団就職者のその後の人生記録。雑然としているが私の頭の中では一貫したまとまりがある。もちろんさらに資料を掘り起こして収集する必要がある。
 近現代の市井の人々の生活の記録から、日本人の社会との係わりを中心とした心理史、社会心理史を描きたい。
 この雑本の山をどのように生かせるか。知恵の出どころだと思っている。